

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。
今月分の請求書をご査収の程よろしくお願ひ申し上げます。

いつも大変お世話になりありがとうございます。
ようやく空気がひんやりとしてきました。夏が終わっていきなり冬がやってきたような感じです。皆さまはいかがお過ごしでいらっしゃいますでしょうか。

年に1度のITセミナーが無事に終了してホッと一息つきつつ、久しぶりの社員旅行で青森へ行ってまいりました。社員旅行の大前提は、「ユーザーの皆さまにご不便をおかけしないこと」。今回も2組に分かれて日程をずらして行ってまいりました。

青森空港の到着口を出ると、バスガイドさんとドライバーさんがお出迎えしてくださいました。この頃の大阪はまだ真夏のような暑さでしたので、青森の涼しさに感激！でも、青森にしたら随分と暑いそうです。バスガイドさんのおしゃべりを聞きながら、まずは青森市内に昼食へ向かいました。

本日の昼食は、奮発して豪華なお寿司とお刺身を頂きました。
青森といえば「大間の本マグロ」ですよ。 「いつものマグロと違うー！！」と歓喜の声があがりました。必ず入荷するとも限らず、予約していても食べられないこともあるし、地元の人もなかなか食べられないから、運がいいですよと、お店の方から聞いて、さらに美味しさが増しました。ありがたや、ありがたや～。
煮餃子やタコや筋子・・・なんでもスゴク美味しくて感動でした。

お腹一杯に食べて飲んだあとは、三内丸山遺跡へ向かいました。
「縄文遺跡といえば、子供のころ学校で習ったのは何ですか？」と、バスガイドさんに質問されて、「???」となりました。皆さんは覚えていらっしゃいますか？
三内丸山遺跡は平成以降に発見された為、昭和の教科書には出てこないそうです。

今から1万6000年ほど前から、1年以上続いた縄文時代のなかでも、三内丸山遺跡は今から5000年以上も前、紀元前3900～2200年ころの遺跡で、遺跡が巨大であることや、全国の縄文遺跡の中でも古い時代の遺跡であることが特徴です。
こちらのシンボルである「大型掘立柱建物」はもちろん復元ですけれど、縄文人は人力でこれだけのものを正確に建てる事ができたのです。そして、復元したものはロシアから木材を運んできたそうですが、こんなに大きな栗の木がこの地に生えていたということにも感動しました。最新技術をもってしても、もう取り戻すことができない豊かな大自然のなかで縄文人は暮らしていたのです。
竪穴式住居や、ごみを分別して捨てた跡地、お墓など、広い園内を歩き回って、ちょっとお腹がこなれてきたので、名物の栗ソフトクリームを食べました。

再びバスに乗って、この旅の宿泊地である十和田湖畔をめざしていきます。十和田湖は火山湖ですので、山の上の方へと向かっていきます。道幅も狭く車も少なく秘境な感じ。外輪山の発荷峠展望台でいったん下車して、十和田湖を眺めました。周囲を原生林で囲まれ、透明度の高い湖に夕空が映りとても美しく神秘的でした。峠をおりて、さらに静けさの増す十和田湖畔のホテルが今回のお宿です。
翌日、十和田湖で遊んだお話はまた来月に・・・。

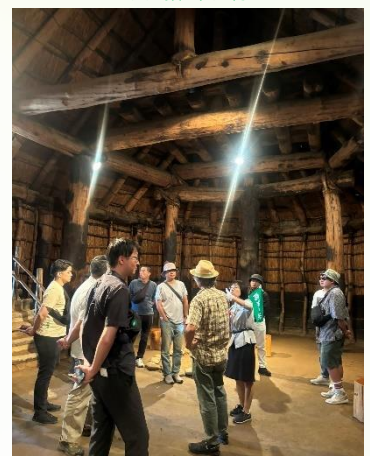
気温差がはげしくて体がびっくりしております。皆さまもどうぞ心も身体も健やかに暖かくお過ごしくださいませ。



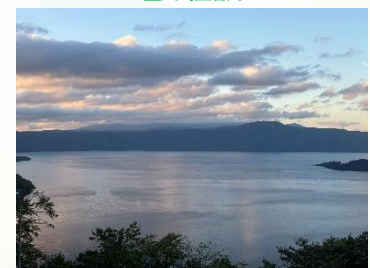
美味しい思い出がよみがえります



大型掘立柱建物



竪穴式住居内



十和田湖～また行きたいな～

今月も最後まで読んで頂きまして、
ありがとうございました。
来月もよろしくお願ひいたします。